



古民家 de がんす

一般社団法人古民家再生協会広島 活動報告 2019年 春号



一般社団法人古民家再生協会広島、〒731-0222、広島市安佐北区可部東 5-22-33-10
<http://www.kominka-hiroshima.org/> info@kominka-hiroshima.org 082-814-5302

1 かやぶきシンポジウム 2019 を開催しました

広島出身の茅葺職人 沖元太一さんと、世界の茅葺事情に詳しい 相良育弥さんをお招きし、ご講演頂きました。

減っていく一方の茅葺屋根を次の世代の景色に残したい、茅葺の新しい手法と活用方法を探り、未来の需要を作りたいとの思いが強く伝わってくるお話でした。

近年、古民家人気が高まっていますが、それ以上に空き家が増えていて、保存の難しさを感じます。しかし、茅葺屋根のある風景は、やはり私たち日本人に郷愁と安らぎを与えてくれます。ぜひ後世へ残していきたいものです。

ところで、茅葺屋根は私たち日本人が懐かしく感じる故郷の風景ですが、実は世界のあちこちに古くからあるということ、茅という植物はこの世に存在せず、茅葺屋根とは草でふいた屋根の総称であることを、お二人のお話から知りました！

屋根の素材は身近で手に入りやすいものを使って安価に作られていたんですね。

今では、その素材や職人の確保が難しいという真逆の状況にあるなんて、なんとも皮肉なものですが、これからも地域の宝として、未来に受け継がれていってほしいです。

【古民家鑑定士 藤原紀子】

「古民家」とは
築50年以上経った
建物を古民家と
定義します。



100名以上の方にご参加頂き、大盛況のシンポジウムとなりました。

「古民家鑑定士」とは
築50年以上の住宅を、
調査鑑定し、
古民家鑑定書を
発行することが
できる資格です。

2 古民家レポート ～広島の素敵な古民家のお店を紹介します～



5回の大改装をした思い入れの詰まった古民家



この看板が目印！！



景色も楽しむことができる贅沢空間



身体と心に優しい♥ 野菜で作ったカレーセット



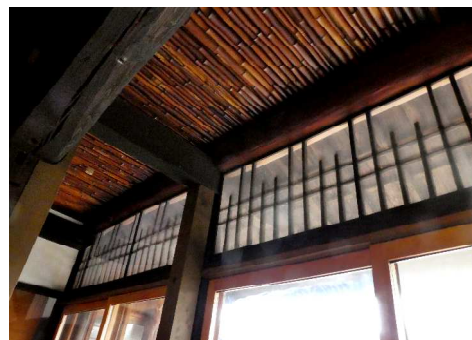
美しい音色を奏でる



美味しい香りに包まれたパン工房



大地の恵みを存分に楽しめるパンたちが並ぶ



時が育てた色が何とも美しい

私がおすすめします！ 古民家鑑定士 高橋尚江

車で広島市内から志和 I.C を経て約 1 時間。まだまだ、茅葺屋根の残る日本昔話の絵本を思い出すような風景を眺めつつ、小さな看板を頼りに到着。

駐車場から建物沿いに少し下ると、そこに目指すカフェが現れる。入口を入った瞬間、ふわあ～と良い香りがお出迎え。もともとは S 63 年に安佐南区祇園に開店した無添加・発芽小麦・天然酵母を使用した体に優しいパン工房。よりおいしいお水を探して、H 2 年に兼業農家さんから築約 70 年は経っているであろうと思われる古民家を譲り受け、良質の軟水が湧く福富のこの地へ移ったとのこと。当初は廃屋状態だったという古民家を、オーナー片岡裕士さんがご自身と友人の皆さんとで 5 回にわたり大改装。伝統的な日本家屋の造りであったが、土間や縁側を少し上げてフラットにし、バリアフリー化。外の景色を眺ながらの食事も可能。

その縁側天井部は、他家解体時に譲り受けた煤（すす）竹が設えてあり、光るほどの竹の黒茶色が年月の経過を思わせる。

仏間であった場所には、存在感あるアンティークの現役オルゴールを設置。西洋の物でもじっくりくするのは、きっと同じ年代を過ごした者同士だからか？

入口右手には、牛舎だった所をカフェ部分と繋ぎ、無添加・国産小麦・天然酵母使用で作られた優しい味わいのパンを販売。左官さんの手により小麦を塗り込んだ白い壁が暖かな雰囲気、よりいっそうパンの良い香りを感じられる。

【安全な食べ物を食すこと＝自分自身を大切にすること。その食べ物の持つ力で皆さんを幸せにしたい】そんな、先代のお母様の想いを受け継いだオーナー片岡さん。パンだけを買うために遠くまで来て頂き、買ってすぐに帰って頂くのは申し訳ないとの思いから、少しでもゆっくりして頂ける場所をと、卵・牛乳・バター・生クリームなど動物性食材を一切不使用とした料理を提供できるカフェを併設。

日本の原風景を窓の外に望みながら、身体に心に優しい食事を頂きつつ、たまには自分を大切にしておける時間を作ってみたいと思えたお店です。

パン工房 カントリー・グレイン
COUNTRY.GRAIN

住所／東広島市福富町下竹仁 225-2

連絡先／082-435-2326

営業時間／10：30～17：00

定休日／火・水曜日

カフェスプラウツ
café SPROUTS

住所・連絡先／カントリー・グレイン 内

営業時間／ランチ 11:30～14:00

喫茶 14:00～16:30

定休日／火・水曜日

3 古民家鑑定を行いました ～広島市～

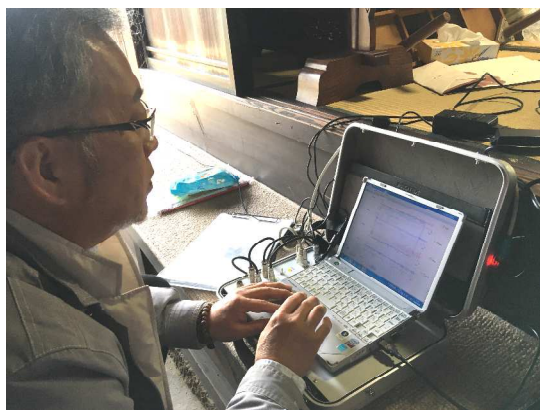
2018年11月25日に、広島市に残る推定地区年数100年の平屋古民家の鑑定を行いました。

県外で生活中の施主様が将来的には戻って生活したいと考えておられ、耐震性などが心配なので、現在のコンディションを調査してほしいとのことでご依頼を頂きました。

当日は、天気にも恵まれ、4名の鑑定士が集まり、調査を実施致しました。



築100年の平屋古民家の鑑定を行いました



伝統耐震診断にて建物の揺れをチェックしていきます

室内には当時のままの建具も残っており、趣を感じることができました。

床下と屋根は一部修繕が必要な状態ではありましたが、伝統耐震診断の数値は良く、これからの活用が楽しみです。

市内に残る貴重な古民家を、残していけることに一助できたことを大変嬉しく思います。

【古民家鑑定士 貴船一樹】



Vol.10 土筆の佃煮

料理教室「季節の味を愛でる会」主宰・あや

春を代表する野草のひとつ、土筆。都市部では見かけることも減ってきましたが、少し郊外へ足を延ばすとその可愛い姿に出会えます。一般的には穂先が開いていない土筆のほろ苦さを味わいますが、胞子が散った土筆は甘味があり、それぞれの美味しさが楽しめます。広島県南部の早い地域では2月頃から、県北では5月初旬までが食べ頃。寒暖差の大きい広島県は意外にも土筆と出会う機会に恵まれています。昔は「土筆を摘み、はかまを取るまでが子供の仕事」と暗黙の了解のような認識があり、子供心に面倒に感じていましたが、近年では貴重な体験となりつつあります。家族全員で春の野原に思いを馳せながらの、はかま取りもまた良いものです。佃煮はごはんのお供の他、行楽弁当にもおすすめ。卵焼きやおむすびの上にそっと添えるだけで、春らしいお弁当になります。

野草で作る春の常備菜

〔材料〕

- ・土筆
- ・醤油
- ・砂糖又はみりん

つくし つくだに 土筆の佃煮

〔作り方〕

1. 土筆のはかまを取り、土を洗い流す。
※酢水を指先につけながら、はかまを取ると爪が黒くなりにくい。
2. 沸騰した湯に土筆を入れ、柔らかくなるまで茹でる。
水にさらし、アク抜きをする。水は何度が換える。
※苦味が好きな方はアク抜きを程々に。苦味が苦手な方、お子さんと召し上がる方はしっかりとアク抜きをしてください。
3. 水を切った土筆を鍋に入れて、醤油、砂糖を加える。
弱火から中火くらいで甘辛く炊き上げる。
※水分をしっかり飛ばしてください。甘さ、辛さは好みで。

佃煮を
使って

土筆の白和え

水気をよく切った豆腐、練り胡麻をすり鉢にあて、土筆の佃煮を和える。季節限定の贅沢な小鉢に。

佃煮を
使って

春菜の胡麻和え

せり、三つ葉などをさっと湯がき、水気を切って土筆の佃煮、粗くすった胡麻を和える。春菜とは春の野草のこと。野をまるごと味わって。

季節の味を愛でる会のブログ「箸休め」 <http://kisetsunoaji5141.blog.fc2.com/>

4 古民家講座 ～もっと伝えたい！古民家の魅力～

古民家鑑定士による、古民家の豆知識をお伝えします！

茅葺き

2019年2月、かやぶきシンポジウムが開催され、茅葺きの奥深さを知る有意義な話を聞くことができました。何よりも参加者の多さが、茅葺きに対する関心の高さを表していました。

様々な事情により、日本から「茅葺き民家」減少し続けています。

茅とは、「ヨシ」「ススキ」「稲わら」等、屋根ふきに用いる草本の総称です。材料の茅場も管理が大変で、少なくなっているのが現状です。茅葺き道具も芸州流を代表とし、各地域の考え方により、大きく違うと聞きます。

海外の多くの都市でも、茅葺きは伝統に根付き、その地域、環境にあったデザインで、新しい時代に対応し進化しています。ヨーロッパでは、茅葺きの新築は富裕層のステイタスとして新たなブームも起きているようです。

茅葺き屋根は、自然の材料であり、使用後も土に還ることから、環境にやさしい優れた建築工法の一つであり、受け継がれるべき伝統です。日本の原風景というべき美しい景観をなす茅葺き民家、「結」の心から相互扶助を再認識し、世界に誇れる茅葺き文化を我々も伝えていきましょう。

【絵・文 古民家鑑定士 西原勝】



【岐阜県大野郡白川村】

合掌造り集落が評価され、1976年重伝建地区に選定され、1995年五箇山と共にユネスコ世界遺産に登録されました。景観だけでなく、地域に根付く「結」の営みも高い評価を受けたと言われています。

5 古民家講演会を開催しました

1月23日に中小企業同友会の不動産部会さんへ、2月8日に日本ホームインスペクターズ協会中四国支部さんへ、それぞれ、古民家の講演会を行いました。

中小企業同友会の不動産部会さんでは、主に、「古民家=解体」という考え方が主流となっている不動産業界に対し、古民家の活用方法や古材の魅力などをお話しさせて頂きました。



実務につながる話を中心にさせて頂きました



20名以上の方にご参加頂きました。

当日は、20名を超える、不動産屋さんにご参加頂き、古民家に対し、非常に意識の高い方が多くおられ、私自身も大変元気を頂きました。

終了後の懇親会では、不動産にまつわるディープな話も聞け、非常に興味深い有意義な時間を過ごすことができました。

素敵なメンバーに感謝した一日でした。

続いて、2月8日に日本ホームインスペクターズ協会中四国支部さんへの講演をさせて頂きました。

日本ホームインスペクターズ協会さんは、インスペクション調査のプロ集団ですが、伝統構法へのインスペクションについては、あまり実施がないということで、この度の講演では、伝統構法におけるインスペクションについてのお話を中心させて頂きました。



(株) よしとみあつしさんの事務所兼モデルハウス

会場は、この度の講演依頼をいただいた、吉富淳さんの事務所兼モデルハウスの古民家です。

通常、講演は会議室で行われることが多いですが、古民家のお話を古民家でさせて頂くというのは、何とも嬉しい気持ちになります。



実際にモーグルを操作する参加者

また、講義にとどまらず、実演として伝統耐震診断や、モーグルを使用した床下インスペクションを見て頂くことができたのも、大変良かったと思います。

昨今、講演のご依頼を頂く機会が増えて参りました。古民家の素晴らしさを一人でも多くの方にお伝えする大変ありがたい機会だと思って、今後とも、精いっぱいお話をさせて頂きます！

【古民家鑑定士 貴船一樹】

6 古民家情報 in 広島 ～古民家に住みたい！貸したい！売りたい！をサポート～

古民家再生協会広島にご相談をいただいている、古民家売買や賃貸の希望情報です。

掲載希望（無料）や情報の詳細については当団体までお問い合わせください！

●広島市安佐北区可部で古民家を探しています！

店舗としても活用できる古民家を探しています。詳細は応相談。

●安佐北区可部町の古民家を売りたいです！

平屋建ての母屋と納屋を買って頂ける方を探しています。

●安芸郡坂町の古民家を売りたいです！

築 80 年程度の古民家を買って頂ける方を探しています。庭があり、活用次第では面白い物件です！

●東広島市福富町の古民家を売りたい（貸したい）です！

古民家鑑定済み物件。地域の為に活用して頂ける方を探しています！

●福山市鞆町で古民家を探しています！

カフェや情報発信の拠点となるような古民家を探しています。詳細は応相談。

●広島市安佐南区吉山周辺で古民家を探しています！

陶芸のできるような広い土間のある物件を探しています。売買物件を希望します。

●広島市西区～草津の古民家を探しています！

店舗として利用可能な物件で、賃貸、売買、どちらの可能性も視野に探しています。

隠れ家的なイメージで進めたいので、必ずしも、メイン通りに面する必要はありません。

●廿日市市の古民家を売りたい（貸したい）です！

非常に状態の良い、手入れの行き届いた古民家です。詳細は応相談。



広島県の古民家専門空き家管理
不在古民家管理サービス

何らかの理由で古民家を空き家にされる方に代わって、
「古民家鑑定士」が、大切な古民家の管理を代行します！！

わたし達にお任せ下さい！！



7 古民家再生現場見学を行いました ～広島市～

2014年に古民家鑑定をした後、再生依頼を頂いた築120年の古民家の再生現場見学会を行いました。

当日は、天候にも恵まれ、多くの参加者にお越し頂きました。

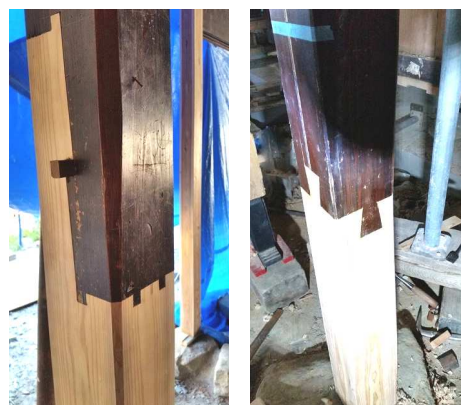
構造が現しの状態での見学会となったので、「伝統構法」ならではの木組みや、土壁を塗る前の小舞竹組も見学頂けました。

最近の木造住宅である「在来工法」にはない部材の確認に併せ、柱の劣化の為におこなった根継ぎなどでは、見学者から多くのご質問も受け、改めて伝統構法である古民家の注目度が伺えました。

この度の見学会では、伝統耐震診断も行いました。大きくゆっくり揺れる「伝統構法」の特徴がしっかりと現れ、参加者からは歓声があがりました。古民家の「免振構造」についても沢山の質問が飛び交い、非常に活気にあふれていました。



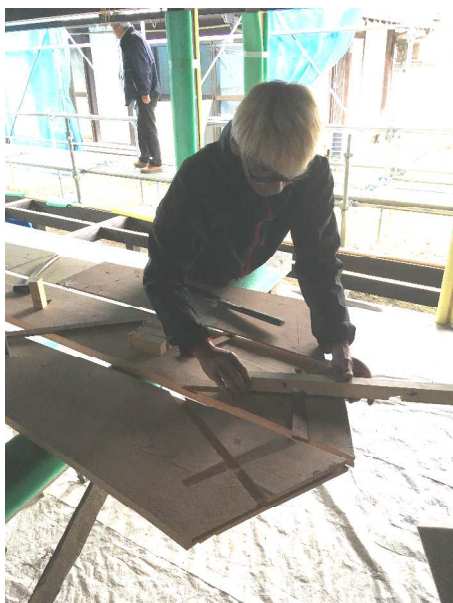
築120年の古民家での伝統耐震診断



釘や金物を使用せず、再生を行う



現場の大工さんのお話を真剣に聞く参加者



破風板をしている大工の様子

その後、現場の大工さんに、生のお話をお聞きました。

こちらの現場では、釘や金物を使用せず、昔ながらの手仕事での再生を行っています。

「ただ釘を打つ。ただ取り付ける。」といった画一的な作業ではなく、職人の知識や知恵を総結集させ、工夫を凝らした現場です。

古民家再生では、過去の職人の技術を活かしながら、さらに昇華させて行く技術が要求されます。

先人の知恵の詰まった「仕事」は、現代の職人にはこれ以上ないお手本となります。

考え、悩む時間がより良い技術に繋がっていく事だと思います。

そんな現場で働く大工さんのお話は、まさに目から鱗の連続で、大変、盛り上がりました！

今後もこのように、生で古民家に触れ合って頂く機会を大事にし、古民家を後世に繋いでいきたいと改めて感じた一日でした。

【古民家鑑定士 貴船一樹】

8 編集部のご紹介

● 貴船 一樹

古い物が大好きで、自ら集めた古材とノウハウで自宅を建築。「ワクワクする古民家」をテーマに活動をしています。

所属/（有）キブネ建設

● 西原 勝

古民家のデザインは地域の特性が活かた、バランスの良い優れた建物が多く、伝承に関わる事ができればと思っています。

所属/西原デザイン事務所

● 畑山 成美

特に茅葺き屋根の古民家が大好きで、「これぞ日本の原風景」茅葺きの民家を探す探索をしています！

● 藤原 紀子

生活感のある古民家が好きです。

そこに住んでいる方のお話を伺って、一緒に当時に思いを馳せて楽しんでいます！

● 土居 一憲

今まで、仕事ではコンクリート造や鉄骨造が主体ですが、本物の木造が大好きです。古民家にこだわることなく棟梁の技術など興味を持っています。

所属/（株）オービット設計

● 高橋 尚江

建物・街並み・手仕事等、「古いもの・こと」なら何でも好きという想いだけで扉を叩き、うっかり（笑）開いた隙間に入った世界！「古き良き」を発受信できる、お節介な窓口を目指しています！

● 油田 秀雄

古臭く現代に合っていない建物だからと言って壊してしまう昨今、長く住み続けたからこそ味わいのあるたった一つの『ヴィンテージハウス』

そんな伝統的な日本建築を残したいと思っています。

所属/（有）夢木房

● 山本 晃弘

昔ながらの風景が好きで、想いを共にする仲間に出会うべく会へ入会！会を通じて昔ながらの良さをじっくり見つけるきっかけづくりにします！

● 桜井 伸治

古民家を通じ、日本の歴史 文化を学び、それを後世に伝えていきたいと思っています。

所属/ 住マイルにしかわ

● 山下 栄作

古民家が好きで「田舎に住みたい」「昔ながらの住まい方がしたい」人が集まってみんなで楽しくお酒を飲む…そんなことを夢見ています。

所属/ヤマシタハウジング合同会社

● 志田 浩一

解体業を営むなかで、古民家にある歴史や古材を活用できるような循環型の解体を目指しています。

空き家問題にも積極的に取り組んでいきたいです。

● 栄花 彰子

日本の伝統を活かす家づくりをしたいと活動をしています。古民家については、その良さを活かした改修を計画します。温故知新を大事に。

所属/エンロハスデザイン一級建築士事務所

● 和田 千尋

職人の手仕事が見える、経年変化を楽しめる、先人の知恵の詰まった“古民家”。そこから、様々なことを学び残し伝統を繋ぐ一員と成りたいです！

一般社団法人 古民家再生協会広島

731-0222 広島市安佐北区可部東 5-22-33-10

TEL:082-814-5302 FAX:082-516-7545

info@kominka-hiroshima.org

http://www.kominka-hiroshima.org

担当／

